

## 地区先達と語る「私のロータリー」の集い開催趣旨説明

講話者 土屋亮平 PDG (松戸 RC)

趣旨説明者 理念研究委員長 海寶勘一 (千葉西 RC)

開催日 2019-11-10 会場：東天紅 23 階

私たち地区理念研究委員会は、その活動方針を決定させるときに、委員会の役割を如何に分かりやすくクラブの方々に紹介し、賛同していただき理解を深めて頂くかを、良く検討し考えてみました。方法として考えられることは、資料の配布や、クラブ卓話等がありますが、直に皆さんと顔をあわせて、地区内の先達ロータリアンから、その貴重な体験を伝えて頂くことも重要な役目であると考えました。各クラブに於いては、先輩会員から新会員への伝達が比較的できやすい環境がありますが、地区他クラブですと中々難しい事情もあります。

日常のクラブ運営で身に感じていたことは、ロータリーの基本理念についてクラブ内で共有し合える環境があるのか、クラブ先達からの情報伝達や理念継承が上手くできていたかの不安を持っていました。

クラブや地区の先達のお話を傾聴する姿勢は尊いものがあり、お互いに耳を傾けあう信頼する姿勢からは、人様への深い思いやりや尽くし合いから、尊敬の念が生まれてくるのだと思います。古きを訪ねて新しきを知る温故知新や、変えてよいこと悪いことを知る不易流行は、人様との話に耳を傾ける心がけから、気付くことや価値が大きく変わることがあります。

ロータリーの例会は人生道場であるとするれば、自らが学ぶ自習を心得るべきであり、クラブメンバーが一つになって学ぶ共修の場であると考えべきでしょう。

ロータリーは気付きや考え方を実践に移させる、公衆の場へと行動に起こすことを示唆しています。その為にも、時には素直になって人様のお話に耳を傾ける姿勢が大切に意義深いものになります。

今回は、地区先達から貴重な体験談や、心豊かなロータリー観、その情熱のお話を純粹になって聴き入ることの価値を高めることの大切さを、知ることも意義があることだとの結論になりました。信頼し、尊敬し合えるロータリアン同士が気楽に集う中で、お互いが寄り添う場として、本日はこの集いの企画をたて実現することができました。

第一部として、土屋亮平パストガバナーから、私のロータリー前編のお話を伺います。

第二部として、土屋パストガバナーのお話をお聞きした内容を基にして研修委員会の寺嶋委員長と中村副委員長、RLI 推進委員会の山下委員長とコラボして、私のロータリー観の認識を確認しながら、参加されている会場の皆さんともシンポジウムができれば幸いです。

この進行役を私、海寶が務めさせていただきますので、皆様もご一緒に問いかけに参加して下さい。

第三部は再び、土屋さんに私のロータリー後編をお願いし、これからのロータリー活動のヒントを見つけ出す講話が楽しみです。

参加された皆さんがロータリー理念を理解して、ご自身の私のロータリーを確立させて下さい。

参加された皆様が、個人に於いてもクラブに於いても、大いに理念の感化にむけて、様々な工夫をされ、クラブ内での活躍させることを期待しております。